

一般会計・特別会計で

予算の31.5%を支出済み

平成18年度

新市の財政公表

市では、市民の皆さんにより一層、市政に対する理解と関心を深めていただくため、定期的に市の財政状況を公表します。今回は、平成18年4月1日から平成18年9月30日までの半年間の予算執行および基金、地方債の状況をお知らせします。

予算の補正などの状況

新図書館周辺整備、公園整備、災害復旧など

平成18年度上半期の予算の状況を表1にまとめました。上半期では一般会計は28億3,260万円の増額、特別会計は4億8,707万円の増額補正を行いました。総額では一般会計が300億4,260万円、特別会計は合計で195億7,991万円、企業会計は60億3,976万円となりました。

補正予算の主な内訳は6月には一般会計で新図書館周辺整備、公園整備経費4億9,005万円、簡易水道事業経営安定化基金積立金1億8,685万円を増額しました。

また9月には6月、7月の豪雨で発生した災害と平成17年度

の凍上災害の復旧事業費に5億1,730万円の増額をしました。内訳は農林水産業施設災害復旧費に1億8,855万円、公共土木災害復旧費に4億9,805万円、文教施設災害復旧費に40万円となっています。その他、地域づくり基金積立金に5億4,000万円、じん芥施設の維持補修工事に3,900万円、少子化対策推進経費に4,880万円の増額補正をしました。また特別会計では国民健康保険特別会計の事業勘定で保険財政共同安定化事業の創設に伴う拠出金に2億1,042万円、簡易水道事業特別会計で建設事業費に4,243万円を増額しました。

(表1参照)

予算の執行状況

一般会計は43・2%が収入済み

一般会計では、収入率は43・2%、支出率は28・4%となっています。

特別会計合計では、収入率は31・6%、支出率は36・4%となっています。

一般会計・特別会計とも、収入では国、県支出金や市債は事業が完了後に収入となるため、収入率は低くなっています。また、支出についても建設事業の工事費や委託料は事業が完了したからの支出となりますので支出率は収入率と同様に低くなっています。

また企業会計においては、水道事業会計の収益的支出が23・7%と資本的支出が12・0%となっており、固定資産の減価償却費や建設事業費の支出が下半期となっているために低くなっています。病院事業会計では収益的支出が43・4%、資本的支出が14・1%となっており、収益的支出は病院の医療費用が主な予算であるため、順調に支出されています。資本的支出は施設改修工

上矢作統合簡易水道事業（上矢作町飯田洞地内）



表2 予算の執行状況（9月30日現在） 企業会計予算は、収益的収支、資本的収支とも支出予算を掲載。率もこれに対する割合

内 訳	現計予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
一般会計	300億4,260万円	129億6,901万円	43.2%	85億3,175万円	28.4%
特別会計	195億7,991万円	61億8,169万円	31.6%	71億2,296万円	36.4%
交通災害共済事業特別会計	1,910万円	770万円	40.3%	673万円	35.2%
国民健康保険特別会計（事業勘定）	49億9,102万円	17億9,238万円	35.9%	19億0,117万円	38.1%
国民健康保険特別会計（施設勘定）	7億3,610万円	1億8,897万円	25.7%	2億5,230万円	34.3%
老人保健医療特別会計	55億5,014万円	22億5,475万円	40.6%	24億2,243万円	43.6%
介護保険特別会計	39億9,718万円	14億3,056万円	35.8%	14億3,119万円	35.8%
簡易水道事業特別会計	14億6,323万円	1億8,738万円	12.8%	3億7,546万円	25.7%
農業集落排水事業特別会計	2億3,815万円	4,684万円	19.7%	8,878万円	37.3%
駐車場事業特別会計	6,590万円	1,897万円	28.8%	2,326万円	35.3%
公共下水道事業特別会計	25億1,419万円	2億5,225万円	10.0%	6億2,153万円	24.7%
遠山財産区特別会計	50万円	14万円	28.0%	1万円	2.0%
上財産区特別会計	440万円	175万円	39.8%	10万円	2.3%
企業会計	60億3,976万円	22億4,492万円	37.2%	21億6,357万円	35.8%
水道事業会計 収益的収支	9億0,103万円	4億1,648万円		2億1,322万円	23.7%
水道事業会計 資本的収支	5億9,243万円	3,250万円		7,117万円	12.0%
病院事業会計 収益的収支	37億1,970万円	15億8,330万円		16億1,616万円	43.4%
病院事業会計 資本的収支	3億6,970万円	0円		5,217万円	14.1%
介護老人保健収益的収支	4億2,577万円	2億1,264万円		1億9,636万円	46.1%
施設事業会計 資本的収支	3,113万円	0円		1,449万円	46.5%

表1 補正の状況（平成18年9月30日現在）

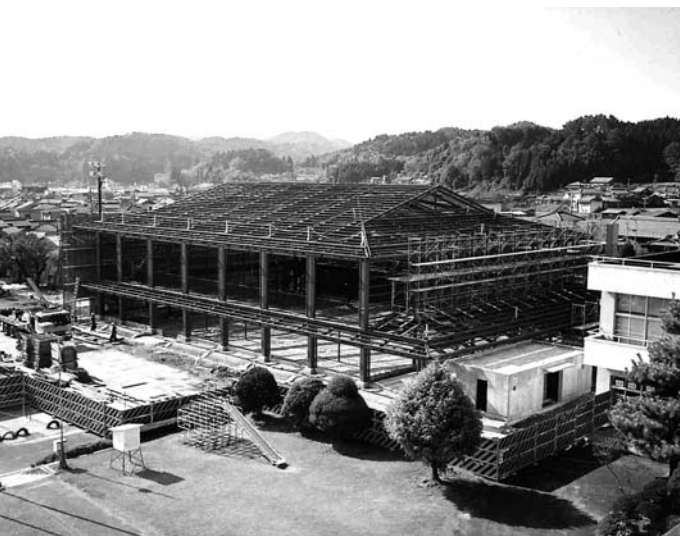
内 訳	当初予算額	補正額	合計
一般会計	272億1,000万円	28億3,260万円	300億4,260万円
特別会計	190億9,284万円	4億8,707万円	195億7,991万円
交通災害共済事業特別会計	1,910万円	0円	1,910万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	47億8,060万円	2億1,042万円	49億9,102万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	7億3,610万円	0円	7億3,610万円
老人保健医療特別会計	55億5,014万円	0円	55億5,014万円
介護保険特別会計	39億9,990万円	2,728万円	39億9,718万円
簡易水道事業特別会計	14億0,860万円	5,463万円	14億6,323万円
農業集落排水事業特別会計	2億3,180万円	635万円	2億3,815万円
駐車場事業特別会計	6,590万円	0円	6,590万円
公共下水道事業特別会計	23億2,880万円	1億8,539万円	25億1,419万円
遠山財産区特別会計	50万円	0円	50万円
上財産区特別会計	440万円	300円	440万円
企業会計	60億0,890万円	3,086万円	60億3,976万円
水道事業会計 収益的収入	9億0,000万円	103万円	9億0,103万円
水道事業会計 資本的支出	5億6,260万円	2,983万円	5億9,243万円
病院事業会計 収益的収入	37億1,970万円	0円	37億1,970万円
病院事業会計 資本的支出	3億6,970万円	0円	3億6,970万円
介護老人保健施設事業会計 収益的収入	4億2,577万円	0円	4億2,577万円
介護老人保健施設事業会計 資本的支出	3,113万円	0円	3,113万円



竹折特定環境保全公共下水道事業（武並町竹折地内）



県営住環境整備事業（飯地町地内）



明智小学校体育館建設事業（明智町地内）

表4 一般会計の収入状況（9月30日現在）

科目	現計予算額	収入済額	収入率
市税	64億1,180万円	39億7,967万円	62.1%
地方譲与税	8億4,490万円	3億4,233万円	40.5%
利子割交付金	1,900万円	1,024万円	53.9%
配当割交付金	1,350万円	1,032万円	76.4%
株式等譲渡所得割交付金	1,320万円	116万円	8.8%
地方消費税交付金	5億4,010万円	3億2,403万円	60.0%
ゴルフ場利用税交付金	1億4,550万円	6,624万円	45.5%
自動車取得税交付金	2億2,760万円	6,919万円	30.4%
地方特例交付金	1億1,570万円	1億5,648万円	135.2%
地方交付税	83億0,000万円	54億2,447万円	65.4%
交通安全対策特別交付金	670万円	0万円	0.0%
分担金・負担金	5億8,200万円	1億2,787万円	22.0%
使用料・手数料	5億8,822万円	2億3,825万円	40.5%
国庫支出金	19億2,497万円	1億1,775万円	6.1%
県支出金	24億5,187万円	1億9,601万円	8.0%
財産収入	1億0,082万円	7,322万円	72.6%
寄附金	726万円	459万円	63.2%
繰入金	20億9,202万円	200万円	0.1%
繰越金	9億4,760万円	15億6,774万円	165.4%
諸収入	6億4,854万円	2億5,745万円	39.7%
市債	40億6,130万円	0円	0.0%
合計	300億4,260万円	129億6,901万円	43.2%

表5 一般会計の支出状況（9月30日現在）

科目	現計予算額	支出済額	支出率
議会費	2億4,740万円	1億2,114万円	49.0%
総務費	55億4,689万円	14億6,318万円	26.4%
民生費	51億8,315万円	15億4,280万円	29.8%
衛生費	35億7,579万円	9億1,280万円	25.5%
労働費	5,420万円	4,527万円	83.5%
農林水産業費	21億2,500万円	5億2,813万円	24.9%
商工費	4億1,204万円	2億0,643万円	50.1%
土木費	38億4,978万円	5億2,852万円	13.7%
消防費	13億5,962万円	4億0,756万円	30.0%
教育費	31億6,252万円	11億2,523万円	35.6%
災害復旧費	5億4,641万円	2,033万円	3.7%
公債費	39億4,980万円	16億3,036万円	41.3%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	300億4,260万円	85億3,175万円	28.4%

表3 市債と基金の状況（9月30日現在）

区分	市債残高
一般会計	360億4,970万円
特別会計	196億8,648万円
国民健康保険（施設勘定）	3億2,327万円
介護保険（サービス事業勘定）	4億0,652万円
簡易水道事業	65億0,902万円
農業集落配水事業	25億3,873万円
駐車場整備事業	3億0,154万円
下水道事業	96億0,740万円
企業会計	44億3,435万円
水道事業	20億7,258万円
病院事業	15億5,131万円
老人保健施設	8億1,046万円
市債総計	601億7,053万円

区分	積立高
積み立てる基金	95億5,233万円
<一般会計に属する基金>	78億5,868万円
財政調整基金	32億9,018万円
減債基金	2億9,428万円
公共施設整備基金	7億3,915万円
市民のまちづくり基金	9億6,474万円
地域福祉基金	9億4,030万円
その他の基金	16億3,003万円
<特別会計に属する基金>	16億9,365万円
国民健康保険給付基金	7億7,034万円
その他の基金	9億2,331万円
運用する基金	11億4,762万円
土地開発基金	9億5,672万円
奨学資金貸与基金	1億5,199万円
家畜貸与基金	2,286万円
高額療養費貸与基金	1,605万円
企業会計の基金	2億6,187万円
水道事業	1億7,067万円
病院事業	420万円
老人保健施設	8,700万円
基金総計	109億6,182万円

市債の状況を表3にまとめました。9月末現在の借入残高は一般会計、特別会計、企業会計まで合わせて約601億7053万円、市民一人当たりでは1

市民一人当たり106万7千円の市債残高

市債と基金

や医療機器などの建設事業費であるため低くなっています。介護老人保健施設事業会計は収益的支出46・1割、資本的支出46・5割となっており、両支出とも順調に執行されています。（表2参照）

このほか、運用する基金として、

06万7075円となっており、（この借金の返済のうち、おおよそ半分は国が交付税として手当てをする約束となっており、実際の市の負担は半分となります）また基金は、9月末で約32億9018万円の財政調整基金、2億9428万円の減債基金のほか、7億3915万円の公共施設整備基金、9億6474万円の市民のまちづくり基金、9億4030万円の地域福祉基金など一般会計分の積み立てる基金で78億5868万円となりました。

一般会計収入・支出の状況
一般会計支出率は28・4%

で、公共事業用地の先行取得を行う土地開発基金や奨学資金を貸し付ける奨学資金貸与基金があり、土地代金や貸付金を含め、運用基金総額は11億4762万円となりました。特別会計、企業会計まで含めた基金総額は、109億6182万円と市民一人当たり約18万9867円となります。（表3参照）

医療、介護保険事業などの繰入金

62・1割と順調に納入されています。株式等譲渡所得交付金や国庫支出金、県支出金、市債などは、年度末に納入されるため、非常に低い収入率となっており、納入される見込みです。歳出については、借金の返済（公債費）や給料など毎月決まって支出するものは、支出率も順調ですが、建設事業などを多く持っている総務費、衛生費、農林水産業費、土木費や9月補正予算で計上した災害復旧費の支出は低くなっています。また民生費は国民健康保険や老人保健

金が下半期に支払われることから、支出率が低くなっています。一般会計において、市全体の歳入・歳出の状況と同様、収入率・支出率とも例年通りとなっています。（表4・5参照）

問い合わせ 財務課 1(内線352)

市民一人当たりの額は、9月30日現在の住民基本台帳の人口56,355人（外国人を除く）で計算しています。